

	火	元日	
	水	休校	冬
3	木		期
4	金		講
5	土	中学生公開模試(中1,2)	習
	日	冬期講習終了 中学生公開模試(中3)	
7	月	33週(1月) 通常授業スタート	
8	火		
9	水		
10	木		
11	金	小学生算数検定締め切り日	
	土	休校 公立中高一貫校入試日	
	日	休校	
14	月	34週(1月)通常授業実施	
15	火		
16	水		
17	木		
18	金		
	土	中学受験適性模試(小5) 休校 センター試験	
	日	休校 センター試験	
21	月	35週(1月)	
22	火		
23	水		
24	木		
25	金		
26	土	私立専願中3入試補習	
27	日	休校	
28	月	36週(1月)	
29	火		
30	水		
31	木	私立高校入試日(一期)	
1	金	私立高校入試日	
2	土	特別入試中3入試補習	
	日	休校	
4	月	37週(2月)	

ヒーローズ
Hero's おかやま

2018年12月号

2019年1月号



ヒーローズ塾生のみなさん、保護様方、こんにちは。

2018年、今年も半月を切りました。

受験生以外の中学生は期末考査も終わり、ホッとしている時期ではないでしょうか？塾に来ると中3の先輩たちがいつも自習スペースで勉強している、そんな姿をしっかりと目に焼き付けてほしいと思います。「いよいよ受験か……。」と……。いろいろな学年が同じ空間を共有する……そして何かを感じる。まさに学校にはない塾の醍醐味です。さて、受験生。

受験で勝つには**第一に正答率が高い問題は絶対に落とさないこと**です。そして、常に日頃から**時間を意識すること**。岡山県公立高校入試問題は各45分。お隣の広島県や兵庫県のように今や公立高校入試は50分入試が主流のなかで岡山県は45分入試。昨年からは福岡県も50分入試になりました。これは何を意味するのか？です。文科省が発表している新学力観である思考力・判断力・表現力を問うためには言語活動や事例を重視した問題が増え、記述のボリュームが増えることで45分では無理がある、ということです。例えば数学。例年、事例問

数学

大問1(計算) 10分	配点 30点
大問2(連立方程式の利用) 5分	10点
大問3(事例・関数や図形) 10分	15点
大問4(事例。関数や図形) 10分	20点
大問5(図形) 10分	25点
見直し0分 見直し時間を何分とるのか？	

題があり時間を意識しなければいけない教科でしょう。傾向だと下記のような大問5題。(配点は70点満点を100点換算にしています。)絶対に落とせない正答率が高い大問1や2の精度とスピードを上げることにまずは取り組むべきです。英語は配点が高いリスニングとほぼ6割超を占める長文問題は時間が足りず読めていないのが例年の失敗パターンです。長文はつかみ(リード文)そして和訳です。

題があり時間を意識しなければいけない教科でしょう。傾向だと下記のような大問5題。(配点は70点満点を100点換算にしています。)絶対に落とせない正答率が高い大問1や2の精度とスピードを上げることにまずは取り組むべきです。英語は配点が高いリスニングとほぼ6割超を占める長文問題は時間が足りず読めていないのが例年の失敗パターンです。長文はつかみ(リード文)そして和訳です。

英語 見直し時間を何分とるのか？

大問1(リスニング) 12分	配点 26点
大問2(短文空所補充) 5分	16点
大問3(会話文補充) 3分	8点
大問4(長文) 10分	25点
大問5(長文) 15分	25点

通常授業は12月21日(金)で終了、22日は休校。年始は1月7日(月)から。

年内は12月21日の金曜で通常授業は終了します。次週24日の月曜から1月6日までは冬期講習時間の通塾となります。冬期講習未受講生の生徒さんはお休み、もしくは自習スペースの利用となります。

(冬期講習期間中の開校時間は14時~22時の開校です。曜日により違いますので事前に確認をお願いします。)

中学生岡山県公開模試は1月5(土)6日(日)、中3生も当塾で行います。

先月に送付させていただいた冬期講習案内に会場受験でご案内しておりましたが、今年は模試日程変更などと会場が空いていないことにより中3生も当塾にて実施することになりました。申し込みをいただいた生徒さんには時間割を同封していますのでご確認ください。(受験票は講習期間中に生徒さんに直接お渡しします。)

1月14日(月)祝日は授業を実施します。1月12、19日(土)は休校です。

研修のため12と19日の土曜は休校となります。土曜授業の生徒さんは事前に振替をお願いします。また14日は祝日ですが通常通り授業を実施します。ご都合のわるい生徒さんは事前に振替をお申し出ください。

2月16日(土)小学生算数検定を実施します。締切は1月11日(金)です。

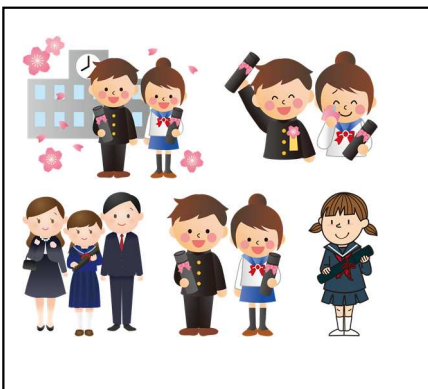
対象の小学生の生徒さんには今回、同封しています。(小学生は弊塾負担で無料です。)また中学生以上は数学検定として対応しています。(数学検定は有料となります)(1級から11級と準1級、準2級、かず・かたち検定のゴールドスター、シルバースターを合わせて全部で15の階級があり、そのうちの数学領域である1級から5級までを、通称「数学検定」と呼びます。)数学・算数の実用的な技能(計算・作図・表現・測定・整理・統計・証明)を測る記述式の検定です。是非、ご検討ください。

1月26日(土)は私立専願、2日(土)特別入試の補習を行います。

中3受験生のうちに私立高校入試専願者と実業系高校の特別入試選抜受験者を対象に補習(無料)を行います。対象の生徒さんには別途、冬期講習終了後、対象者の生徒さんのみ案内書を送付しますので参加の方のみ、期日まで提出をお願いします。内容は冬講習志望校特訓のようなイメージです。予想問題を5教科各45分で解いてもらい、自己分析、その後、基礎の確認を行います。また26日土曜には面接練習も行います。

中3生徒高校継続のご案内、高校1年生の夏までお任せください。

高校授業は、中学校に比べて学習量も多く、授業スピードも格段に上がります。ここで油断していると、いきなり勉強が分からなくなってしまいます。商業や〇〇工業という実業系学校も同じです。普通科と違って「ゆるーい」イメージはありませんか?ご存知の通り、実業系の生徒さんは就職する生徒さんが普通科に比べて圧倒的に多いです。そして、高校卒業後の就職は地元の優良企業のOBを通じて内申書で選抜され、決まります。言い換えれば、実業系の生徒さんほど、高校授業の定期考査などが大事です。むしろ大学受験は一部の推薦入試を除き、定期考査は関係ありません。早くから志望校を決めて、志望する大学の教科科目を集中して勉強すればいいのです。大切なのは、高校生活が落ち着くまでは努力を怠らないこと。特に高校の一学期の成績で、三年間の成績が決まると思って間違いありません。とくに英語と数学。英語は「中学英語文法の理解不足」、数学は「高1の因数分解をはじめとした基礎計算力不足」が殆どです。例年、継続特典として諸経費(4~9月15,600円)を無料として、中3生のカリキュラムの講数(コマ数)を減らし、高1の7月頃までは週1日程度(2コマ)の通塾を勧めています。ご検討ください。高校入学はゴールではありません。スタートです。



とくに英語と数学。英語は「中学英語文法の理解不足」、数学は「高1の因数分解をはじめとした基礎計算力不足」が殆どです。例年、継続特典として諸経費(4~9月15,600円)を無料として、中3生のカリキュラムの講数(コマ数)を減らし、高1の7月頃までは週1日程度(2コマ)の通塾を勧めています。ご検討ください。高校入学はゴールではありません。スタートです。